

学校 教育 目 標	たがいに思いやり 自ら考え たくましく生きる 川上の子~かがやく わたし かがやく みんな~					
	○自分を大事にし、相手を思いやる優しさをもった子を育てます (徳)					
	○基礎基本を活用し、自分で考えて問題を解決しようとする子を育てます (知)					
	○体力づくりを通じ、心も体もたくましく生きる子を育てます (体)					
学校 概 要	創立 130 周年	学校長	堀部 尚久	副校長	江目 典子	2 学期制
	一般学級：12		個別支援学級：2		児童生徒数：296 人	
主な関係校：秋葉中・秋葉小・品濃小						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	秋葉中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	秋葉中学校 秋葉小学校 川上小学校 品濃小学校	豊かななかかわりの中で、自他を認め合い、ともに高め合う子ども ・「豊かななかかわり」とは、どのような場面、どのようななかかわりのことなのかについて検討し、ブロックでの活動の中に取り入れていく。 ・児童生徒が自分のよさを見つけ、互いに認め合い、ともに高め合うことができるような学習支援や生活指導について探り、それを9年間の学びのプロセスとして「小中一貫カリキュラム」の中に位置づけることができるようにする。
〈自分づくりに関する力〉 〈問題発見・解決能力〉		

中 期 取 組 目 標	○学校教育目標の実現に向け、魅力と活力にあふれた学校を目指します。
	○誰もが安心・安全に過ごせる教育環境を整え、居心地の良い学校づくりを推進します。
	○自ら考え表現し学び合う豊かな教育活動を充実させ、児童の自尊感情を高めます。
	○学校・家庭・地域の連携を深め、まちとともに歩む学校づくりを推進します。
	○勤務環境の改善に努めるとともに、教職員の力量を高め、「チーム川上」として活力ある学校運営組織を確立します。

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b>	①教科担任制や交換授業の充実を通じ、評価や教材研究を効率化する。②指導の系統性を意識し、基礎基本の定着を前提にして問題解決の方法を考えられる力を育てるために、教材研究や学年研究会の時間を確保する。③国語科の重点研究で身に付けた課題解決の方法や交流を通して培った豊かな学び合いを他教科でも取り入れ、言語の力を駆使し、互いの考えの違いを意識しながら聞いたり、よさを認めながら思いを伝え合い、学ぶ意欲や態度を育てる。
担当 教務部・推進委員会	
<b>豊かな心</b>	①自分を深く見つめ、思いを語り合う中で多面的・多角的な見方へと広げていく道徳科の授業を目指していく。全教育活動を通して、相手の思いに共感し、今の自分を高めていこうとする子をめざしていく。②多様な集団活動を通じ、自他のよさに気付きながら、思いやりの心や協力する心を育てる。③家庭や地域との連携を図り、様々な人とのなかかわりを通じ、自分は多くの人に支えられていることに気付く、感謝の気持ちをもつとともに、コミュニケーション能力を高める。
担当 道徳部・川上活動部	
<b>健やかな体</b>	①運動に対して苦手意識をもっており、体を動かすことに積極的でない児童への取組みとして、朝の時間などを使って月二回程度全校児童で継続的に、短縄や長縄等に取り組み、運動に親しむ機会を確保していく。②自他の命を尊重する態度を養うために、正しい知識を習得できるよう学校保健委員会や保健学習を中心に生活習慣の見直しを継続的に呼びかける。
担当 体育部・保健安全部	
<b>児童生徒指導</b>	①学校全体で子ども理解に繋がる情報を共有し、児童理解に努める。②学校のきまりはもとより、マナーやモラルといった視点からも全職員の共通理解のもと指導にあたり、規範意識を育てていく。③教師が率先してあいさつをするとともに、児童の自発的なあいさつが増えるように、発達段階に応じて具体的な取り組みを行っていく。
担当 児童指導部	
<b>特別支援教育</b>	①外部機関の協力を得ながら、支援が必要な児童の対応についての情報収集はもとより、専門的な見地からの研修を行い、指導に生かしていく。②適宜情報交換を行い、児童の困り感に寄り添いながら、過程との連携を密にして対応していく。③在籍級の枠にとらわれることなく、あらゆる場面で互いのよさを認め合い、ふれ合えるように関わっていく。
担当 児童指導部・特別支援委員会	
<b>教育環境整備 安全管理</b>	①学校の施設・設備等の安全点検を定期的継続的に行いながら、誰もが安全・安心な校内環境整備に努める。②避難訓練や登校班指導、交通安全教室、防犯学習等を計画的に行い、常に保護者との連携を取りながら、児童の安全に対する意識を高め、子どもたち自ら安全に行動する力や危険を回避する力を身に付けていく。
担当 保健安全部・管財部	
<b>地域連携</b>	①教科等の学習活動の中で、主体的・計画的に地域の方々や関連施設、企業、自然など関わる機会をつくり、より深い学びにつなげられるようにする。②地域と関わる学習を通して、自分と地域とのつながりを大切に思う気持ちを育み、家庭とも連携しながら地域と進んで関わろうとする意識や態度を身に付けていく。
担当 教務部	
<b>教育課程 カリキュラム・マネジメント</b>	①各教科の学習実践や重点研究を通して、新学習指導要領の理念に基づく教育課程の実効性を検証する。②単元づくりにおいて、新たな視点から教育活動計画の見直しを図り、教育課程の改善を積み重ねていく。③幼稚園・保育園との接続や中学校との接続にかかわる単元開発を試み、学校教育目標に繋がる授業改革・カリキュラム・マネジメントを随時行う。
担当 教務部・推進委員会	
<b>いじめへの対応</b>	①いじめ防止基本方針に則り、いじめは絶対に許さないという姿勢で指導にあたる。人権週間や運営委員会の活動との関連を図りながら、児童が自発的にいじめ防止に取り組んでいくように働きかけていく。②いじめを生まない学級風土づくりや授業づくりのために、いじめ防止研修を計画的に行っていく。③事案の早期発見と適切な対応、再発防止を適切、迅速に行う。
担当 児童指導部	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	①メンターチームによる研修をより充実させ、経験の浅い教員への支援がしっかりと行えるよう、中堅・ベテランをメンバーに入れるとともに、年間行事の中に研修日を位置付ける。②時数確保の仕方を見直し、きめ細やかな指導・支援のための体制や教材研究の時間確保など、働きやすい職場環境の整備に向け、組織やシステムの改善をすすめていく。③学校情報の発信方法を工夫する。
担当 教務部	